

【EG-Keeper®】

新検温方式(顔全体検温モード)のご紹介

【機能概要】

新検温方式の顔全体検温モードとは、EG-Keeper従来の検温方式(額の位置を特定し、その中から1番温度の高い場所を測定する検温方式)から顔全体から一番温度の高い場所を抽出し検温するモードとなります。



【検温の有効性】

顔全体検温モードへ変更し、EG-Keeperにて以下環境下で測定。有効性の確認を実施。

1. 気温が低い場合、従来の測定方式では体表面が冷え35℃以下として表示された。
2. 測定対象者が実際に熱があるが、従来の測定方式だと汗などにより額の温度が平熱くらいまで下がってしまった。

上記環境下において、顔全体検温モードの方がより体温に近い検温が可能だった。

【顔全体検温テスト結果】

[検温条件]

外気温1℃の環境下に30分いた後、検温開始 / 体温計計測による**実体温36.8℃(脇下測定)**

※ 赤外線画像は測定範囲を分かりやすくするため、EG-Keeperの赤外線全画面表示となっております。

1. 従来額の温度測定
額部分を検温
測定結果 **34.0℃**
2. 顔全体検温モード (マスク有)
マスク上部
鼻の一部を検温
測定結果 **36.4℃**
3. 顔全体検温モード (マスク無、口閉)
マスクを外したため、
口の周りの温かい部分検温
測定結果 **36.7℃**
4. 顔全体検温モード (マスク無、口開)
マスクを外したため、
口の中辺りの温かい部分検温
測定結果 **36.8℃**

【検温サポート機能のご紹介】

EG-Keeperの新ファームウェアでは今回ご紹介した”顔全体検温モード”以外にも”**セキュリティモード**”機能を搭載しております。本機能は、本来顔認証の精度向上を図る為マスクを外すよう音声にて促す機能ですが、正確な検温を実施する際にも有効な機能となります。
(上記テスト結果3,4参照)